

令和6年10月31日付【日本水道新聞】

＜災害対策の模範として＞

九州支部 松尾 禎泰

災害対策の模範として

全国上下水道コンサルタント協会九州支部長 松尾 禎泰



熊本市水道事業は大正13年の給水開始から、本年11月27日に創設100周年を迎えられますことを謹んでお祝い申し上げます。

創設から現在に至るまでにご尽力された諸先輩のご功績に敬意を表するとともに、先人の皆さまの想いを受け継いでおられます現役の皆さまに御礼を申し上げます。

熊本市は、豊かな自然環境に恵まれた地であり、地下水を水道の水資源として「蛇口をひねればミネラルウォーター」と表現されているように安全でおいしい水を供給し、市民の暮らしを豊かに潤しています。また、この水資源を未来の世代にまで引き継ぐために地下水保全に向けた熊本市の積極的な取り組みは、誰もが認めるところです。

一方、最大震度7を観測した平成28年熊本地震では、水道施設において甚大な被害に見舞われました。しかしながら、その復旧に尽力された多くの職員の方々の献身的な働きにより、熊本市の水道は見事な復興を遂げました。この震災の経験を次代の職員に継承していくための防災訓

練の実施やAI技術を活用した水道DXの取組みなど、災害に強いインフラを目指す熊本市の姿勢は、全国の模範であり、私たちも深く感銘を受けております。

私ども、全国上下水道コンサルタント協会では水に特化した専門集団として、施設の老朽化対策やインフラマネジメントなど、行政と連携しながら持続可能な水道事業の発展に貢献していきます。当協会は平成28年熊本地震を契機として、熊本市をはじめ九州管内で18事業体と災害時支援協定を締結しています。近年、激甚化する自然災害に対して、減災や早期の復旧が実現できる支援体制の整備を進めていきます。

最後になりますが、熊本市の水道事業がこの100周年という大きな節目を契機に長年にわたって蓄積してきた実績と伝統の上にさらなる飛躍を遂げることを期待しています。

これからの100年においても、水道市民生活や社会活動を支え、熊本市のさらなる発展につながることを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。